

(6) 学術会議関連

国際委員会の中に「ICSU附置委員会対応小分科会」を設置

国際委員会 G8及びICSU等分科会

氏名	所属・職名
大西 隆	東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻教授
春日 文子	国立医薬品食品衛生研究所安全情報部長

ICSU附置委員会対応小分科会

氏名	所属・職名
大西 隆	東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻教授
春日 文子	国立医薬品食品衛生研究所安全情報部長
山形 俊男	独立行政法人海洋研究開発機構アプリケーションラボ所長
竹内 邦良	(独)土木研究所水災害 リスクマネジメント国際センター(ICHARM)センター長
花木 啓祐	東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻教授
渡邊 堯	名古屋大学太陽地球環境研究所客員教授 情報通信研究機構招聘専門員
田口 哲	創価大学工学部環境共生工学科教授
五條堀 孝	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所副所長教授
柴崎 亮介	東京大学空間情報科学研究センター教授

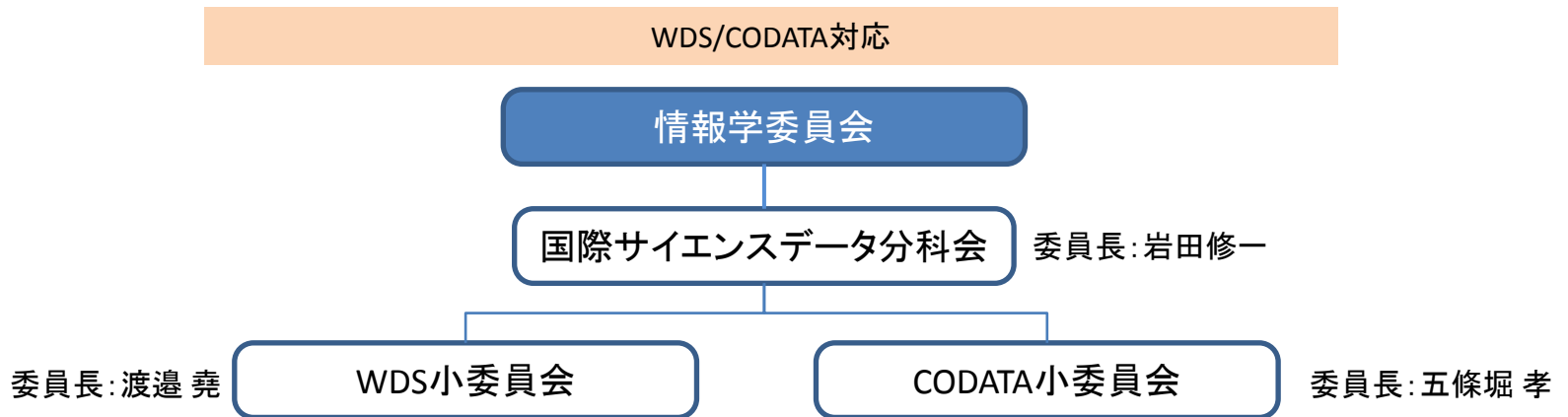
【参考】データ関連の国際科学会議対応組織の状況

- CODATA小委員会の委員長が決定

第21期学術会議におけるデータ関連
国際科学会議 対応組織 (2011年9月まで)



第22期学術会議におけるデータ関連
国際科学会議 対応組織



WDS小委員会関連報告

出版物刊行

学術の動向2012年6月号に、WDS特集(科学データの長期保全とグローバルな共有 -ICSU世界データシステムの構築-)を掲載
(<http://www.h4.dion.ne.jp/~jssf/text/doukousp/2012-06.html>)

Proceedings of 1st WDS Conference, Kyoto 2011の刊行

Data Science Journal 特集号 (2013)、46篇

Preprint 集として、PDF版を<http://www.icsu-wds.org/>に掲載中
印刷版も作成

会議等開催

【2013年3月25日-26日(予定)】

「WDS国内シンポジウム(第3回)」 「WDS小委員会」
CODATA小委員会との連携

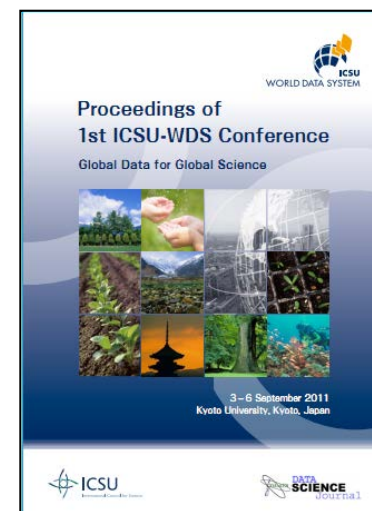
【2013年9月24日-26日(予定)】

「グローバルデータシステムにおける極域データ活動に関する国際フォーラム」
(International Forum on “Polar Data Activities in Global Data System”)

SCADM (*) とWDS-SCの共催

*Standing Committee on Antarctic Data Management/SCAR

NICTの国際交流プログラム(国際研究集会支援)がサポート



Future Asia関連の動きについて

・国際シンポジウム「Future Asia」が2012年12月に日本学術会議の関係委員会等主催により開催

主 催:

- 日本学術会議環境学委員会・地球惑星科学委員会合同IGBP・WCRP・DIVERSITAS合同分科会・
日本学術会議地域研究委員会・環境学委員会・地球惑星科学委員会合同IHDP分科会
- 人間文化研究機構総合地球環境学研究所
- GEC-Japan Platform

日 程: 2012年12月13日(木) - 12月14日(金)

会 場: 総合地球環境学研究所 講演室

参加者: ICSU Lee会長、大西日本学術会議会長、春日副会長、小池(GEOSS)、村山(WDS)等

詳細プログラム: 別紙1、別紙2を参照

趣旨: ICSUが2013年から開始する新たなプログラム「Future Earth」に対応して、アジア地域における地球環境変化の共同研究や組織・ネットワーク、Future Earthとの連携について議論

【参考】「Future Earth」とは・・・

Future Earth(地球の未来)という国際的な研究プログラムが、日本学術会議も参加するICSU(国際科学会議)や、ISSC(国際社会科学評議会)、国連組織等によって準備されています。まだ全貌が見えていないのですが、

地球環境問題で警鐘を鳴らしてきた大気、海洋、陸地や地殻の地球観測に加えて、人間社会の政治、経済、文化等も観察対象に取り込み、人間の活動と地球の変化を統合的に考察すること。

地域間、地域内等、様々なレベルでの公平性を重視しつつ世界の発展を追求すること。

これらを踏まえて、持続可能な未来を築くために、様々な主体による適切なガバナンスを構築すること。

という包括的で学際的なテーマが設定されていて、文明史的な観点から現代工業社会を見つめ直し、新たな文明への手掛かりを掴もうという意欲的な試みです。

日本学術会議も、Future Earthの国際的な取り組みに積極的に参加していきたいと考えています。